

事前評価書

		年度	R8
		整理番号	
事業名・路線名等		(単)道路改良事業 高崎大分線	
所在地		大分市八幡(八幡3工区)	
事業概要	事業の目的	大分市と由布市を結ぶ幹線道路で、柞原八幡宮や資源循環施設へのルートとして観光・産業を支える重要な路線であるため、幅員狭小かつ線形不良の解消により通行車両の走行性、安全性の向上を図る	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=540m、W=6.0(7.5)m 【構造規格】 第3種第3級 設計速度 V=40km/h 【計画交通量】 955台/日(R22) 【現況幅員・交通量】 W=4.0~5.0m 交通量 991台/日(R7)	
	事業費	C= 440百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から8年(令和15年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 地形測量、道路詳細設計 2年目 用地測量 3年目 用地補償 4年目 用地補償 5年目 用地補償 6年目 道路工事 7年目 道路工事 8年目 道路工事 完成	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小かつ線形不良(最小幅員4.0m、最小曲線半径15m)といった構造上の問題があり、通行車両の走行性・安全性は低く、大型車両等の離合も困難な状況 ・重要文化財である柞原八幡宮が文化財保存修理事業で大規模改修を実施しており、多くの参拝客が見込まれる 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な道路規格の確保による通行車両の走行性、安全性の向上 ・由布市と大分市西部のアクセス機能強化 ・柞原八幡宮や資源循環施設へのアクセス改善により、観光・産業を支援 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・通行困難区間の解消(一次改築)のため、通行の安全性や観光・産業振興等の観点から評価【参考B/C=0.6】 	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造については、道路法・道路構造令に適合した工法を採用 ・一部バイパスとなるが、ルート比較を行い最も経済的なルートを選定 	
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・補償物件を極力避けたルート設定 ・アスファルト・コンクリート・砕石は再生資材を利用する ・建設発生土を盛土材に利用する 	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の変更は可能な限り小さい計画としている ・周辺の住環境に配慮し、低騒音・低振動の建設機械を使用する ・発生土は現場内流用、残土は発生しない 	
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市から要望書が提出されており、市の協力体制は整っている ・地元自治会からも要望書が提出されており、地元の協力体制は整っている 	
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法第15条に基づき事業を実施 ・大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」、「おおいたの道構想2024」に基づき事業を実施 	
	事業の特殊性	-	
対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい 	